

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用をおこないます。

ファンドの特色

特色
1

主に、世界の上場株式の中から、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスをおこなう企業の株式を実質的な投資対象とします。

- 「グローバル・イノベーション株式ファンド(適格機関投資家向け)」(以下「主要投資対象ファンド」)への投資を通じて、主として、日本を含む世界の上場株式の中から、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスをおこなう企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 5つの戦略への投資を通じて、複数のイノベーションを幅広く捉えることをめざします。
- 「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」にも投資します。
- 原則として、為替ヘッジはおこないません。

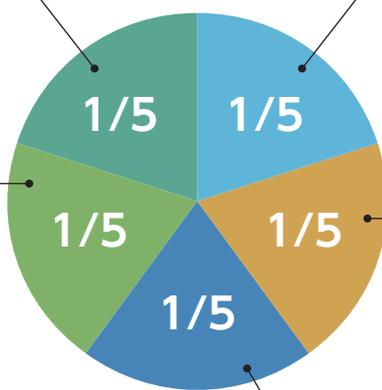
ゲノム戦略

ゲノム解析やゲノム編集を用いた製品の開発・サービスなど、ゲノム関連ビジネスをおこなう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業に投資

スペース戦略

人工衛星・ロケットなど「宇宙」に関するビジネスや、ドローンを含む無人航空機など「大気圏」に関するビジネス、それらの「基幹技術」に関するビジネスなど、宇宙関連ビジネスをおこなう企業に投資

戦略別基本配分比率



ゼロ・コンタクト戦略

コロナショックを経て台頭するDX(デジタル・トランスフォーメーション)関連企業の中でも、特に「非接触(ゼロ・コンタクト)」ニーズのもとで飛躍的な成長が期待される企業に投資

フィンテック戦略

スマートフォンのアプリを通じたモバイル決済サービスなど、今後の成長が期待されるフィンテック関連企業に投資

マース戦略

移動手段として、自動車などの「モノ」を提供する企業や、ライドシェアリングのように「サービス」を提供する企業など、モビリティ・アズ・ア・サービス(Mobility as a Service: MaaS(マース))関連企業に投資

※上記の基本配分比率は、2024年9月30日現在の主要投資対象ファンドにおける基本配分比率であり、今後変更される可能性があります。



DR(預託証券)とは

ある国の企業の株式を海外でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行する証券のことで、株式と同様に取引所等で取引されます。

特色
2

個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- 主要投資対象ファンドの運用は日興アセットマネジメント株式会社がおこないます。
- 主要投資対象ファンドの実質的な運用は、イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からの助言をもとに、日興アセットマネジメント・グループの日興アセットマネジメント アメリカズ・インクがおこないます。

資金動向、市況動向、信託財産の規模等によっては、前記の運用ができない場合があります。

ファンドの目的・特色

アーク社について



ARK
INVEST

アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー

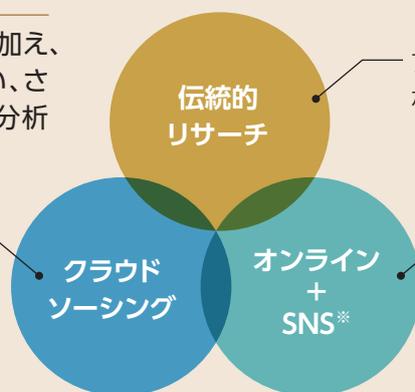
2014年に米国にて設立

- アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)では、破壊的イノベーションを発掘するには、従来の伝統的なリサーチ手法だけでは不十分と考え、ユニークなプロセスで調査をおこなっています。
- アーク社は、「金融」と「テクノロジー」の融合を目的に、両業界の出身者から成るアナリストチームを擁しており、高い専門性を活かした運用をおこなっています。

アーク社のリサーチシステム

伝統的なリサーチ手法で得た情報に加え、外部の専門家と共同研究をおこない、さらにネット上での批評を取り入れて分析の精度を高めていくシステム

構築した成長モデルをもとに、アーク社自身の見解と世の中の認識のずれを確認

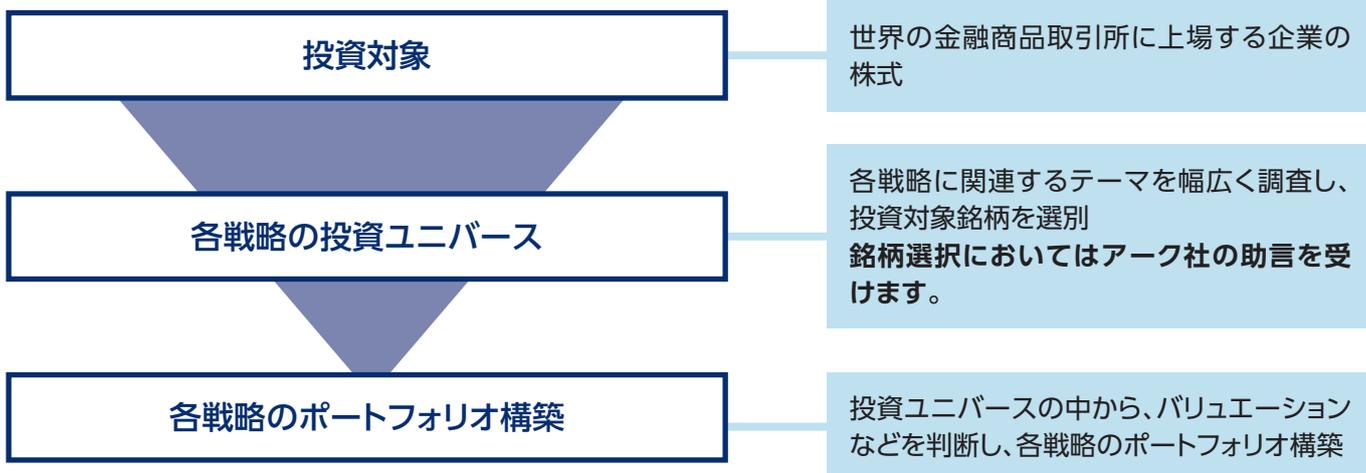


ファンダメンタルズ分析やボトムアップ分析などを実施

外部の専門家と投資テーマについて共同で分析し、成長モデルを構築

※SNS:ソーシャルネットワークサービス

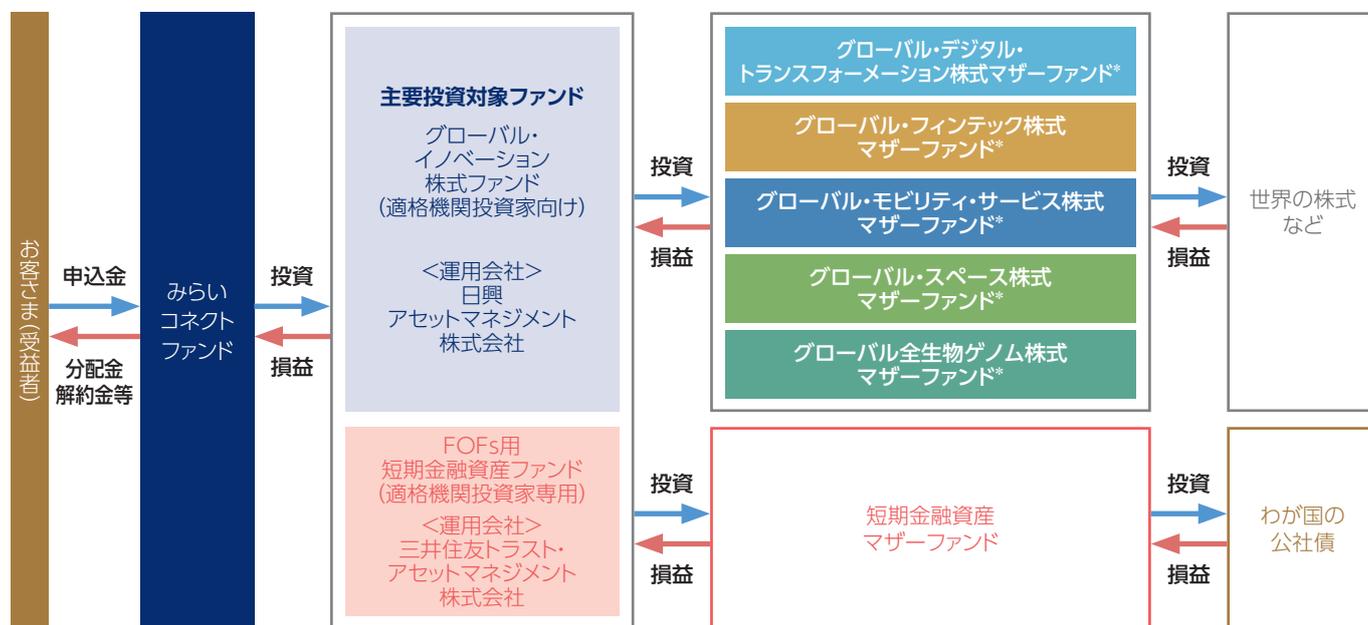
各戦略の運用プロセス



※上記は2024年9月30日現在の運用プロセスであり、将来変更される場合があります。

ファンドの仕組み

ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。



*運用会社:日興アセットマネジメント アメリカズ・インク

※投資対象ファンドの概要につきましては、後掲「追加的記載事項」をご参照ください。



ファンド・オブ・ファンズ方式とは

お客さまからお預かりした資金を、直接株式や債券といった資産に投資するのではなく、株式や債券に投資している複数の投資信託に投資して運用をおこなう仕組みです。

分配方針

- 年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
ただし、分配をおこなわないことがあります。
 - 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

おもな投資制限

- 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- 株式への直接投資はおこないません。
- 外貨建資産への直接投資はおこないません。
- デリバティブの直接利用はおこないません。

資金動向、市況動向、信託財産の規模等によっては、前記の運用ができない場合があります。